



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武山 直民
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 榊原 秀典 (TEL) 052-805-8600
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	16,341	32.5	296	—	816	—	574	—
2021年3月期第2四半期	12,325	△23.9	△347	—	△40	—	△257	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,404百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △362百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	37.49	—
2021年3月期第2四半期	△16.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	38,077	22,840	58.5
2021年3月期	38,784	21,502	53.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 22,276百万円 2021年3月期 20,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,600	15.7	520	9.8	1,350	8.1	900	△19.1	58.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	16,020,300株	2021年3月期	16,020,300株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	663,643株	2021年3月期	722,529株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	15,317,240株	2021年3月期2Q	15,255,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から先進国を中心に回復に向かいつつありますが、新たな変異株により感染症の再拡大が懸念されております。また、複合的な要因による世界的なエネルギー資源の不足から物価高騰が起きており、中国国内では電力不足による生産活動の制限などが深刻化し、先行きの不透明感は強まっております。

わが国経済におきましても、新型コロナワクチン接種が促進され、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたものの、感染症拡大の第6波への警戒感からコロナ禍以前の経済回復に至るまでには、依然として時間を要する状況であります。

また、当社グループの主要取引先であります自動車業界におきましては、世界的な半導体不足や東南アジアにおけるサプライチェーンの混乱による生産台数の減少など、予断を許さない状況が続いております。

この様な環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は163億41百万円（前年同期比32.5%増加）、営業利益は2億96百万円（前年同期は営業損失3億47百万円）、経常利益は8億16百万円（前年同期は経常損失40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億74百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億57百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 可鍛事業

当セグメントにおきましては、原材料高騰や期間後半の自動車及び建設機械等の主要取引先の生産縮小があったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響があった昨年に比べ客先生産台数が増加し、売上高は159億29百万円（前年同期比33.4%増加）、セグメント利益（営業利益）は7億73百万円（前年同期比707.4%増加）となりました。

② 金属家具事業

当セグメントにおきましては、ポストコロナを見据えた需要に対する販売活動を積極的に推進しましたが、物流費や原材料価格の高騰により、売上高は4億11百万円（前年同期比4.7%増加）、セグメント損失（営業損失）は18百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は380億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品、仕掛品が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより流動資産が16億56百万円減少し、投資有価証券、関係会社出資金が増加したことなどにより固定資産が9億49百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ20億44百万円減少し、152億37百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加したことなどにより流動負債が16億97百万円減少し、長期借入金が増加したことなどにより固定負債が3億47百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ13億37百万円増加し、228億40百万円となりました。主な要因は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、業績等を勘案し、2021年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは本日（2021年11月5日）発表いたしました「2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,470,604	5,045,003
受取手形及び売掛金	5,798,776	4,928,256
電子記録債権	1,441,444	1,448,873
有価証券	29,991	30,021
商品及び製品	749,632	992,714
仕掛品	603,066	806,506
原材料及び貯蔵品	796,089	907,007
その他	327,721	402,048
貸倒引当金	△3,606	△3,540
流動資産合計	16,213,719	14,556,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,293,807	3,361,223
機械装置及び運搬具（純額）	5,682,554	5,626,310
工具、器具及び備品（純額）	595,543	734,646
その他（純額）	4,589,605	4,376,584
有形固定資産合計	14,161,510	14,098,764
無形固定資産	134,450	70,605
投資その他の資産		
関係会社出資金	4,846,161	5,562,801
その他	3,444,010	3,803,854
貸倒引当金	△15,096	△15,096
投資その他の資産合計	8,275,074	9,351,558
固定資産合計	22,571,036	23,520,928
資産合計	38,784,755	38,077,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,806,532	2,705,433
電子記録債務	2,324,184	2,577,636
短期借入金	2,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	859,474	797,104
未払法人税等	50,574	60,898
賞与引当金	330,913	344,678
その他	1,545,345	1,733,918
流動負債合計	9,917,024	8,219,670
固定負債		
長期借入金	4,290,495	3,919,842
役員退職慰労引当金	41,313	41,112
環境対策引当金	14,455	14,455
退職給付に係る負債	105,760	108,267
その他	2,912,830	2,934,015
固定負債合計	7,364,854	7,017,692
負債合計	17,281,879	15,237,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,000	1,161,000
資本剰余金	722,469	729,819
利益剰余金	17,428,722	17,910,966
自己株式	△243,249	△222,336
株主資本合計	19,068,942	19,579,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	987,322	1,110,675
繰延ヘッジ損益	—	182
為替換算調整勘定	708,541	1,439,906
退職給付に係る調整累計額	164,348	146,765
その他の包括利益累計額合計	1,860,212	2,697,530
非支配株主持分	573,720	563,479
純資産合計	21,502,875	22,840,457
負債純資産合計	38,784,755	38,077,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	12,325,624	16,341,212
売上原価	11,495,188	14,755,529
売上総利益	830,435	1,585,683
販売費及び一般管理費	※1 1,177,694	※1 1,288,909
営業利益又は営業損失(△)	△347,258	296,773
営業外収益		
受取利息	3,731	7,107
受取配当金	29,987	31,831
持分法による投資利益	232,627	349,544
その他	86,995	161,581
営業外収益合計	353,341	550,064
営業外費用		
支払利息	24,711	23,443
その他	21,600	7,385
営業外費用合計	46,311	30,828
経常利益又は経常損失(△)	△40,228	816,009
特別利益		
助成金収入	※2 135,378	※2 5,781
固定資産売却益	128	—
特別利益合計	135,506	5,781
特別損失		
固定資産除却損	6,477	2,846
新型コロナウイルス感染症による損失	※3 301,618	※3 46,011
特別損失合計	308,096	48,858
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△212,817	772,932
法人税、住民税及び事業税	58,822	87,346
法人税等調整額	△2,410	118,651
法人税等合計	56,411	205,998
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269,229	566,933
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,256	△7,378
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△257,973	574,312

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269,229	566,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,623	122,982
繰延ヘッジ損益	—	318
為替換算調整勘定	△89,530	364,228
退職給付に係る調整額	20,613	△17,582
持分法適用会社に対する持分相当額	△87,899	367,136
その他の包括利益合計	△93,192	837,083
四半期包括利益	△362,422	1,404,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△354,289	1,411,630
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,133	△7,613

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
荷造運搬費	375,576千円	439,801千円
給与諸手当	249,790	261,654
賞与引当金繰入額	38,933	44,649
退職給付費用	11,584	7,727
役員退職慰労引当金繰入額	2,667	2,488

※2 助成金収入

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等135,378千円を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等5,781千円を計上しております。

※3 新型コロナウイルス感染症による損失

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

休業中に発生した人件費、減価償却費等の固定費等301,618千円を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

休業中に発生した人件費、減価償却費等の固定費等46,011千円を計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,932,785	392,838	12,325,624	—	12,325,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,932,785	392,838	12,325,624	—	12,325,624
セグメント利益又は損失(△)	95,831	△8,679	87,152	△434,410	△347,258

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△434,410千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,929,860	411,352	16,341,212	—	16,341,212
外部顧客への売上高	15,929,860	411,352	16,341,212	—	16,341,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,929,860	411,352	16,341,212	—	16,341,212
セグメント利益又は損失(△)	773,813	△18,894	754,919	△458,145	296,773

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△458,145千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

2022年3月期 第2四半期決算発表 参考資料

中央可鍛工業株式会社
(コード番号 5607)

連 結 情 報

(1) 連結第2四半期の業績の推移 (百万円)

期 別	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2022年3月期第2四半期	16,341	296	816	574
(対前年増減率)	32.5%	-	-	-
〈連単倍率〉	1.4	-	8.2	10.7
2021年3月期第2四半期	12,325	△ 347	△ 40	△ 257
2020年3月期第2四半期	16,199	53	347	650
2019年3月期第2四半期	14,114	51	358	311
2018年3月期第2四半期	12,587	366	686	557

(2) 連結部門別売上高

		2022年3月期第2四半期	2021年3月期第2四半期	増減	増減率
可鍛事業	自動車部品	9,942	7,682	2,259	29.4%
	産業用機械部品	5,987	4,250	1,737	40.8%
可鍛事業計		15,929	11,932	3,997	33.4%
金属家具事業		411	392	18	4.7%
合 計		16,341	12,325	4,015	32.5%

(3) 連結通期の業績予想と業績推移 (百万円)

期 別	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2022年3月期予想	33,600	520	1,350	900
(対前期増減率)	15.7%	9.8%	8.1%	△ 19.1%
2021年3月期	29,017	473	1,248	1,113
2020年3月期	31,525	142	1,109	1,153
2019年3月期	29,777	156	821	942
2018年3月期	26,630	695	1,335	933

(4) 営業利益増減要因 (対前年同期比較) (百万円)

増 益 要 因	金 額	減 益 要 因	金 額
売上高増加	913	原材料等仕入価格上昇	441
原価改善努力等	172		
計	1,085	計	441
差引：営業利益		増益	644

(5) 連結設備投資額の状況 (百万円)

	2022年3月期 (計 画)	2021年3月期 (実 績)	2020年3月期 (実 績)
設 備 投 資 額	2,180	1,075	1,529
減 価 償 却 費	2,380	2,429	2,696